

Cente Technical Information

発行番号	003-0006	Rev	第1版	発行日	2019/01/07
題名	IPCPネゴシエーションが完了せず接続が失敗する現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente PPP Ver.2.20 - Ver.3.00				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 以下の2つのケース両方に該当する環境です。 ・接続相手からDNSサーバアドレスの割り当てが要求される ・本PPPで接続相手にDNSサーバアドレスの割り当てを行わない設定にしている (具体的には、接続相手に割り当てるDNSサーバアドレスを取得するユーザカスタマイズ関数getParam_PPPrDNS()、getParam_PPPrSecDNS()を、何もせずE_OKを返すよう実装している)</p> <p>割り当て要求はPPPプロトコル上発信・着信には依存しませんが、一般的には発信側が着信側に対して割り当て要求を行います。そのため、本PPPを発信側として使用している環境のほとんどは該当しません。</p> <p>【障害内容】 接続相手からDNSサーバアドレス割り当て要求(IPCP ConfigRequest)を受けると、本来はオプション拒否(IPCP ConfigReject)を応答すべきです。しかし、該当Ver.ではgetParam_PPPrDNS()、getParam_PPPrSecDNS()がE_OKを返した場合、「0.0.0.0」というIPアドレスで否定応答(IPCP ConfigNak)します。接続相手の実装によっては再び割り当て要求送信に戻るなどしてしまい、接続が完了しません。</p> <p>【発生理由】 Ver.2.12からVer.2.20に更新する際、getParam_PPPrDNS()、getParam_PPPrSecDNS()の仕様を変更させていただきましたが、その説明がユーザーズマニュアルや「Ver.Upにおける注意事項」から漏れていました。</p> <p>【回避方法】 接続相手にDNSサーバアドレスの割り当てを行わない場合、「何もせずE_PARを返す」よう変更願います。 (ユーザーズマニュアル該当部分の更新版が必要な場合、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)</p>					